

2026 年 10 月 22 日
株式会社オンワードホールディングス
コーポレートコミュニケーション室



回収衣料品から生産したリサイクル毛布 4,000 枚をアルメニアへ寄贈

株式会社オンワードホールディングス（本社：東京都中央区 代表取締役社長：保元 道宣）は、当社の回収衣料品から生産したリサイクル毛布 4,000 枚を、日本赤十字社の協力のもと、アルメニア赤十字社へ寄贈しました。10 月 20 日（火）にセヴァンにて、10 月 21 日（水）にはイジェヴァンにて、当社社員のサステナブル推進チームが現地を訪問し、リサイクル毛布を地域の方々へ直接手渡し寄贈式を実施しました。



© Armenian Red Cross Society

当社では、「ひとと地球(ホシ)に潤いと彩りを」というミッションステートメントに基づき、地球と共生する経営を推進しています。その一環として、ご愛用いただいた当社の衣料品を回収し、リユース・リサイクルを行う「オンワード・グリーン・キャンペーン」を 2009 年から実施しています。回収した衣料品の一部から生産したリサイクル毛布は、国内外の被災地や開発途上国などの支援先へ、2010 年から今回の寄贈を含めて累計 53,500 枚を寄贈しました。

第 16 回目の支援先であるアルメニアは、南コーカサス地方に位置する内陸国で、近年では IT 産業を中心に経済が好調に成長しています。しかしながらその一方で、GDP の約 6 割が首都のエレバンに集中するなど都市部と地方部との間で地域間格差が拡大し、特に地方部では貧困率が高く、雇用機会や産業基盤が不足しています。

また、冬季の寒さが厳しく、社会経済的に困難な状況に置かれている人々にとって防寒対策は喫緊の課題となっています。さらに、地震多発国であり防災能力の向上が急務となっています。

この度当社が寄贈したリサイクル毛布は、アルメニア赤十字社により厳寒となる地域において多くの子どもを抱える脆弱な世帯などの支援を必要とする方々へ 2,000 枚を配布し、残り 2,000 枚は災害時の緊急支援物資として備蓄されます。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」では、これまでの約 17 年間で累計約 201 万名のお客さまから約 1,031 万点の衣料品を回収しました。回収した衣料品の一部から生産したリサイクル毛布は、今後も国内外の被災地や開発途上国への支援に活用していきます。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」公式サイト URL：https://www.onward.co.jp/green_campaign/

■ 10月20日（火）、21日（水）に行われた寄贈式の様子



© Armenian Red Cross Society

■ 毛布を受け取った方のコメント



© Armenian Red Cross Society

ジャンバンギャン・リマさん

毛布の品質がとても良く、冬に大切にに使わせていただきます。寄付者全員に深く感謝しております。



アヌシュ・ポペヤンさん

私と子どもたちのためにご支援いただき、本当にありがとうございます。皆様にたくさんの幸運があり、私たちのような人々をこれからも助けていけるよう願っています。

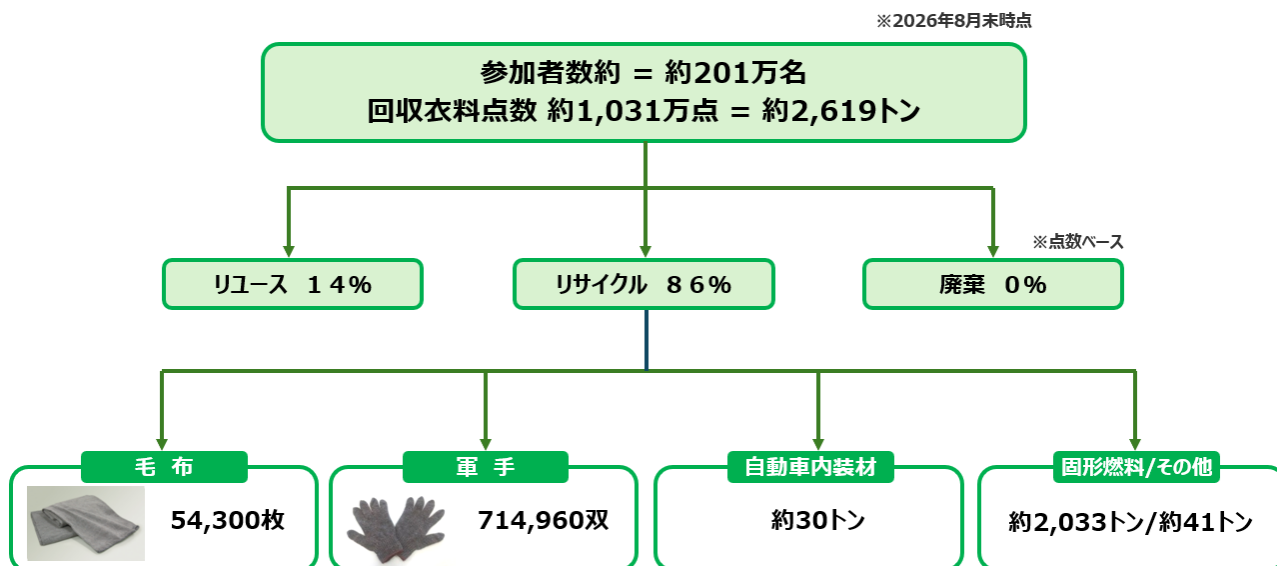
冬には子どもたちに掛けてあげるため、毛布を使わせていただきます。

■「オンワード・グリーン・キャンペーン」について

オンワードグループのサステナブル経営推進の一環として、ご愛用いただいた自社の衣料品を回収し、リユース・リサイクルを通じて、衣料品循環システムの構築を目指す取り組みです。2009 年にスタートし、これまでの約 17 年間で累計約 201 万名のお客さまから約 1,031 万点の衣料品を回収しました。

回収した衣料品は、RPF（固形燃料）にリサイクルし代替エネルギーとして利用するほか、繊維製品の原料となるリサイクル糸を作り毛布や軍手を生産。毛布は、日本赤十字社の協力のもと、国内外の被災地や開発途上国への支援に活用しています。これまでに、東日本大震災被災地や中国・四川大地震被災地、生活困窮者の方々などへ累計 53,500 枚を寄贈しました。また、軍手は、災害支援、森林保全、啓蒙活動など様々な場面で配布しています。

さらに、まだ使用できる一部の衣料品は、環境コンセプトショップ「オンワード・リユースパーク」（東京・吉祥寺/EC サイト）にてチャリティー価格で提供し、その収益をサステナブル活動に役立てています。2023 年からは、地球と共生しながら、ファッションビジネスを元気にすることを目指す『Upcycle Action（アップサイクル・アクション）』をスタートしました。ファッション企業としてのクリエイション力を生かして、不要になった衣料品から新たな価値を生み出す取り組みです。



■リサイクル毛布の寄贈による支援活動実績

	【寄贈時期】	【寄贈先】	【寄贈対象】	【寄贈枚数】
第 1 回	2010 年 5 月	バングラデシュ	難民キャンプ	3,000 枚
第 2 回	2011 年 2 月	カザフスタン	難民キャンプ	3,300 枚
第 3 回	2011 年 9 月	日本	東日本大震災被災地	1,000 枚
第 4 回	2012 年 3 月	中国	四川大地震被災地	2,200 枚
第 5 回	2012 年 9 月	モンゴル	生活困窮者の方々	2,000 枚
第 6 回	2013 年 10 月	ネパール	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 7 回	2014 年 10 月	ミャンマー	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 8 回	2015 年 10 月 2016 年 4 月	ベトナム	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 9 回	2016 年 2 月	ネパール	ネパール大地震被災地	2,000 枚
第 10 回	2017 年 10 月	インドネシア	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 11 回	2018 年 11 月	インド	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 12 回	2019 年 10 月	モンゴル	孤児院と 寄宿寮の子どもたち	4,000 枚
第 13 回	2023 年 11 月	ラオス	寄宿寮の子どもたちと 生活困窮者の方々	4,000 枚
第 14 回	2024 年 11 月	タジキスタン	生活困窮者の方々と 災害備蓄品	4,000 枚
第 15 回	2025 年 10 月	カザフスタン	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 16 回	2026 年 10 月	アルメニア	生活困窮者の方々と 災害備蓄品	4,000 枚
				累計 53,500 枚

※第 1 回～第 2 回は「UNHCR」を通じて寄贈。第 3 回以降から「日本赤十字社」を通じて寄贈。

■株式会社オンワードホールディングス 概要

1927 年に「檉山商店」として創業しました。現在は、「ファッション」「ウェルネス」「コーポレートデザイン」の 3 つの領域における事業を推進するとともに、海外においては、「ヨーロッパ」「アメリカ」「アジア」の 3 地域でビジネスを展開しています。

ミッションステートメントである「ヒトと地球（ホシ）に潤いと彩りを」のもと、“社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営”により、地球と共生する“潤いと彩り”のある生活づくりに貢献する「生活文化創造企業」として前に進み続けます。

設立：1947 年(昭和 22 年) 9 月 4 日

代表者：代表取締役社長 保元 道宣

本社：〒103-8239 東京都中央区日本橋 3 丁目 10 番 5 号オンワードパークビルディング

URL：<https://www.onward-hd.co.jp/>